

雪灯籠製作手順

★ トーフ作り (型枠作り)

- 事務局で受付をして製作位置を確認します。
トーフ製作に必要な資材(1基につきコンパネ4枚・ロープ2~3本)は事務局でお貸しします。その他のスコップ・スノーダンプ等は必ずご持参ください。
- 雪灯籠の土台になる部分の雪を十分踏み固めます。(※高さ30cmに統一する)
- 土台の上、四方にコンパネを立て2~3ヶ所ロープで縛ります。コンパネを立てる際、1名が中に入ります。(帽子やヘルメット等で頭部を保護します。)
- 外の者はコンパネの中に雪を投入します。できるだけ綺麗で細かい雪を使用します。
- 中の者は雪を十分踏み固めます。固まっている雪は中で砕きます。
- コンパネより多少高くなるまで雪を詰め込み十分圧雪します。この状態で2~3日放置して、中の雪を固めることになります。
- トーフ作りが完了したら事務局から借りた資材を返却します。

★ 整形 (本製作)

- 事務局で受付をします。
整形に必要な道具(1基につき型枠1枚・雪ノコギリ2本・雪ヘラ2本)は事務局でお貸しします。その他のスコップ・スノーダンプ等は必ずご持参ください。※整形の際、赤チョーク等あれば便利です。
- コンパネを外します。
- 型枠をトーフにあて、チョークなどで型をとります。(2面以上)
- 右図を参考にして笠の部分から順次下へ切り込み整形します。笠は角からではなく、面の方から削るように注意します。
- 明かり窓は道路側とその左右を空けますが、**裏面と西側の面は空けません。**
- 最後に大きめの雪玉を笠の上に乗せて宝珠部分を作ります。これで雪灯籠は完成です。
- 雪灯籠の土台の両側や製作場所近くに雪ぼんぼりを製作します。バケツにしっかりと雪をつめてひっくり返します。最後にローソクの点灯する穴を中心に開けます。
- 事務局から借りた道具を返却します。

★ ご注意

- 周囲に十分注意を払い“安全第一”に製作します。
- 雪灯籠を製作するうえで一番重要なのが、土台部分とトーフの踏み固めです。作業的に大変なところですが、せっかくの雪灯籠がこわれないうがなばりましょう。
※特に四方の角は、しっかり踏み固めてください。
- 雪灯籠製作の際、上杉神社境内(堀の内側)に車の乗り入れはできません。
- 製作者の表示プレートは統一したものをまつり事務局で準備します。

